

平成30年2月7日付【日本下水道新聞】

九州支部＜早期復旧へ協定締結＞

大分市 関連4民間団体と

## 早期復旧へ協定締結

### 大分市 関連4民間団体と

大分市下水道部は12月20日、同市庁舎で下水道関連4民間団体（日本下水道管路管理業協会、全国上下水道コンサルタンツ協会九州支部、日本下水道施設業協会、日本下水道施設管理業協会）と早期復旧に向けた災害支援協定を締結した。

地震などの大規模災害により同市の下水道施設に被害が発生した場合、管路施設の二次調査などを管路協が、災害査定資料の取りまとめ等を水コソ協九州支部が、処理場等の機械設備関連の点検

や応急復旧を施設協が、処理場等の運転管理に係る対応を管理協がそれぞれ支援することで、より早期の復旧を目指す。

協定締結後あいさつに立った同市の桑田龍太郎



桑田副市長(中央)と団体幹部

副市長は「市では平成23年度に下水道BCPを策定したほか、これまでに地元管工事組合やJSD日本下水道事業団など5団体と災害支援協定を締結してきたが、今回の締結でより幅広い支援が要請できることは大変心強い。今後とも市民に安全・安心な下水道サービスが提供できるように努めていきたい」と述べ、締結団体にさらなる協力を呼びかけた。